

阿南市立図書館 貸出統計の推移

— 令和元年度～令和 6 年度の個人貸出冊数・貸出者数 —

「羽ノ浦図書館・那賀川図書館を守る会」 2026 年 8 月作成

■ この資料について

阿南市立図書館が公表している統計をもとに、この 6 年間の貸出の推移を整理しました。とくに、阿南図書館が一般利用を休止し「図書館カウンター」に置き換わったあと、貸出がどう変わったかに注目しています。

■ 1. 市全体の利用状況

年度	阿南市人口	個人貸出冊数 (合計)	貸出者数 (合計)	市民一人当たり 貸出冊数
令和元年度	72,068 ※1	606,793	137,148	8.42 ※1
令和 2 年度	71,336	525,561	118,732	7.37
令和 3 年度	70,327	524,652	119,526	7.46
令和 4 年度	69,430	505,566	117,662	7.28
令和 5 年度	68,519	498,263	115,123	7.27
令和 6 年度	67,468	489,682	118,149	7.26

市全体の個人貸出冊数は、令和元年度から令和 6 年度にかけて約 19.3%減りました。同じ期間の人口減少（約 6.4%減）を上回るペースです。市民一人当たりの貸出冊数も 8.42 冊 → 7.26 冊（-13.8%）となっています。

■ 2. 館別の個人貸出冊数

年度	那賀川図書館	羽ノ浦図書館	阿南図書館／ 図書館カウンター
令和元年度	185,468	161,906	259,419
令和 2 年度	147,867	157,459	220,235
令和 3 年度	302,692	215,084	6,876 ※2
令和 4 年度	231,843	213,487	60,236
令和 5 年度	232,958	208,977	56,328
令和 6 年度	245,129	198,644	45,909

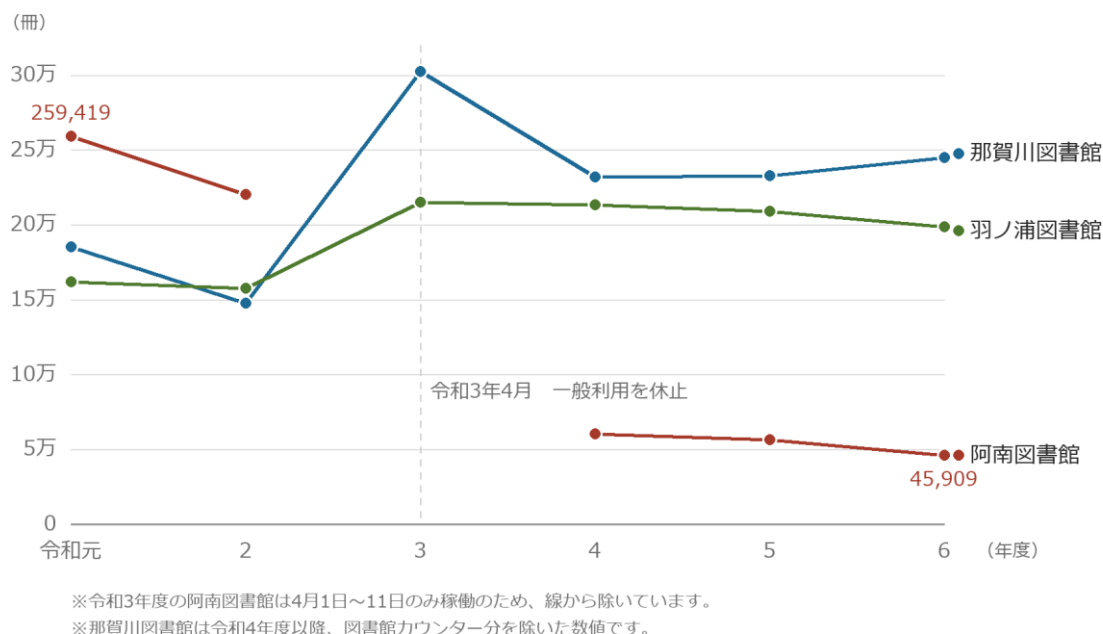
那賀川図書館は令和 4 年度以降、図書館カウンター分（右列に計上）を除いた数値です。

羽ノ浦図書館・那賀川図書館の 2 館だけで、令和 6 年度に約 44 万冊が貸し出されていま

す。阿南図書館が休止したあと、この2館が市の図書館サービスを支えてきたことが分かります。

■ 3. グラフで見ると

2の表を折れ線にしたものです。阿南図書館だけが下に離れていく形になっています。



■ 4. 阿南図書館が「図書館カウンター」になったあと

阿南図書館は令和3年4月11日をもって一般利用を休止し、蔵書を持たない貸出窓口「図書館カウンター」（市役所内）に置き換わりました。同じエリアの個人貸出冊数を年度ごとに追うと、変化は次のとおりです。

- ・ 令和元年度（図書館として稼働） 259,419 冊
- ・ 令和2年度（休止前の最終年度） 220,235 冊
- ・ 令和6年度（カウンターになった後） 45,909 冊 → 令和元年度と比べて -82.3%

カウンターになった後も減少は続いています（令和4年度 60,236 冊 → 令和6年度 45,909 冊、-23.8%）。

蔵書があり、司書がいて、館内で過ごせる「図書館」ではなくなり、本を受け取るだけの窓口になったことで、貸出は、図書館だった頃の5分の1程度まで落ち込みました。

■ 5. この数字から考えられること

「図書のまち阿南」構想では、羽ノ浦図書館・那賀川図書館を「読書テラス」とし、借りられる本は新中央図書館からの配本 3,000～5,000 冊、職員は 22 名から 7 名へ、とい

う案が示されています（構想 18 頁・23 頁）。

蔵書と司書が大きく減るという点で、阿南図書館に起きたことと同じ形です。同じような利用の落ち込みが、羽ノ浦・那賀川両図書館でも起きることが懸念されます。

阿南図書館では、実際に何が起きたのかを示す数字が、すでに市の統計に残っています。この経験を、これからの判断に生かしていただきたいと考えています。

【出典】阿南市立図書館「図書館統計」各年度利用統計（令和 2～6 年度、anan-lib.jp）。令和元年度の個人貸出冊数・貸出者数は「阿南市立新図書館基本計画」（令和 5 年 10 月 阿南市教育委員会）表 1-7「利用状況の推移」による。

※1 令和元年度の人口・一人当たり貸出冊数は、住民基本台帳ベースの人口推移（令和 2 年 1 月 1 日時点 72,281 人）から按分した推定値です。他の年度は各年度の利用統計に記載された実数です。

※2 令和 3 年度の阿南図書館は 4 月 1 日～11 日のみ稼働（同月中に閉館）のため参考値です。